

市指定文化財<無形民俗>

いわもとかぐら
岩本神楽

登録日 昭和57年4月1日

所在地 菊池市旭志弁利 岩本



旭志岩本地区、菅原神社に伝承されている、肥後神楽系に属する神楽である。明治4年(1871)、村民の幸福と豊かな生活を祈願するために、氏子にて神楽奉納の儀を決め、第1代目神楽連16名の奉納者を得て結成されたものであり、130年以上の歴史がある。

神楽は笛太鼓の曲に榊舞、幣舞、米舞、弓剣舞、弓舞、歌、剣舞、地固舞の8座であり、構成は太鼓2人、笛2人、舞人6人からなる。現在、7月25日(夏祭り)、11月25日(秋祭り)、12月15日(岩本天神祭り)で奉納のほか、姫井地区の祭り時にも出かけて奉納している。

神社には、神殿、拝殿の四方に龍、神殿棟下には一対の力神像^{りきじん}の見事な彫刻が施されている。また、夏祭りの日には「茅の輪くぐり」と呼ばれ、無病息災を祈る男女が、お祓いを受けるという慣わしがある。